

月報 2022 年 11 月 30 日

11 月号



石城山岳会事務局編集

10 月月例山行「岩木山 八甲田山」

黒岩山(2162.8m)

金石が鳥谷山(969.6m)

志津倉山(1234.2m)

駒止湿原

大戸岳(1416m)

三倉山・流石山・大倉山

中山(金塚山)(855.7m)

思案岳(874.2m)

高つぶり山(933.1m)

背灸山、羽黒山(645m)

滝沢峠、堂ヶ作山(382.1m)

奴田山(青木山)(723.3m)

明神ヶ岳(723.3m)

奥久慈男体山

高尾嶺(869.1m)

銀山峠

令和 4 年度 安全登山研修会兼指導員養成講習会

大博多山(1315m)

博士山 山行

鉄山（1709m）塩沢ルート周回

生瀬富士・立神山・月居山

10 月月例山行「岩木山 八甲田山」

2022 年 10 月 1 日(土)・2 日(日)

会員 13 名（尾形夫妻、下山田、秋葉、小林、佐藤(幸)、蛭田(ミ)、
佐藤(秀)、根本、佐藤(春)、青天目、菊地、二瓶)

<1 日目> 天気：晴れ時々曇り 岩木山

『わぁ！ 今までに来た岩木山で最高の景色！！』

今回が三度目の菊地さんの山頂での言葉です。

初めての岩木山で、天候に恵まれこんな素晴らしい景色が堪能できた私は本当にラッキーでした。



初日は青森県の岩木山に向かいます。

津軽富士とも称される岩木山は、津軽半島や北海道までも望める青森県最高峰の山で、東北最南のいわきからは、約 500 キロとなかなかの長距離移動になります。合同庁舎を早朝 3 時 30 分に出発しました。

岩木山山行のルートは、岩木山スカイラインから 8 合目リフトを使うコースです。コンディションはとても気持ちがいよい秋の清々しい気温と、また冒頭で記述しましたとおり、絶好の天気の中、リフトからの眺望は日本海と山そして遠く海岸線までが見えるほどで、津軽の景色を最高のロケーションで見ることができました。

ルート途中も大きな岩がゴロゴロはしていますが赤いスプレーの印で登りと下りが分かれているのでわかりやすかったです。またリフト利用なので登山者たちの中には軽装の方々も多く見られました。



下山後、夕飯はスーパーマーケットマックスバリューで買い物。炊事班に選ばれた根本さんと佐藤(春)さんがキノコ汁の準備をしてくれました。

宿泊先の酸ヶ湯キャンプ場は清潔感があり、トイレも綺麗で調理場も充実しています。八甲田山へ登山口もキャンプ場のすぐ裏なのでおすすめです。

【コースタイム 岩木山】

岩木山リフト八合目 11:35～リフト 9 合目 11:43～鳥海山 11:43～大館鳳鳴ヒュッテ 11:57～御倉石 12:16～岩木山 12:21～岩木山神社 12:30～岩木山山頂避難小屋 12:30～大館鳳鳴ヒュッテ 13:35～鳥海山 13:49～リフト 9 合目 13:50～岩木山リフト 8 合目 14:06

<2日目> 天気：晴れ時々曇り 八甲田山

2日目は青森県で岩木山に次ぐ高さの大岳を主峰として18の山々からなる八甲田山に登ります。

朝6時出発。酸ヶ湯温泉登山口より歩き出しました。アップダウンのあるコースです。

自分的には、このコースは登りより下りの方がつらく感じました。

歩き出してすぐ、火山性ガスの影響で枯れている樹木や草が視界の左側に広がり、怖いような気持ちになる景色が印象に残りました。



地蔵湯ノ沢を登りきると、視界が一気に開け、仙人岱の湿原が広がります。最後の行程はざれており急登でした。



山頂は360度パノラマです。少しかすんではいましたが、青森市街や青森湾などのスケールの大きい眺望が一望できました。私には、この後の下りの景色が特に印象に残りました。初めは笹、また笹で足元しか見え少し飽きますが、大岳鞍部避難小屋を越えてからは素晴らしい景色が見られます。紅葉と草紅葉、振り返って見える大岳も初秋が感じられる本当にステキな景色です。途中280段ほどの階段は疲れも出てきたので慎重に下りました。

下山後は酸ヶ湯温泉《ヒバ千人風呂》へ行きました。《ヒバ千人風呂》は男女混浴の温泉で、入口の混浴を守る会の三か条の立て看板を見ると少々ひるみましたが、せっかく来たのでぜひと思い入りました。160畳もの広間に天井までの高さが5mもある大空間のお風呂は、柱が一本もない総ヒバ作りで、一見の価値がありました。コツは最初にダッシュ→お風呂にダイブ→奥まで行かない！です。長子さんと菊地さんが一緒してくれました。

青森県の日本百名山2山を踏破する今回の山行は、最高の天気にも恵まれて本当に楽しいものとなりました。

計画して下さった尾形夫妻、そして参加していただいた皆様ありがとうございました。



(文責：二瓶)

【コースタイム 八甲田山】

八甲田山神社 6:02～酸ヶ湯温泉バス停 6:07～薬師神社 6:07～八甲田大岳登山口 6:08～仙人岱避難小屋 8:00～八甲田山 大岳 8:57～大岳鞍部避難小屋 9:48～毛無岱湿原経由八甲田山神社 12:18

黒岩山(2162.8m)

2022 年 10 月 20 日(木)

渡辺(敏)

会津百名山の黒岩山に挑戦するのは 3 度目。それまで、残念ながら登頂を果たせていない。黒岩山は福島、群馬、栃木の県境に位置し、栃木百名山にもなっている。沼山峠からも、奥鬼怒温泉郷からも時間がかかる。今回は、沼山峠から往復しようと思ったが、当初は一泊必要と思い計画してみたが、地図のコースタイムを合計すると往復に 11 時間弱、急げば何とか泊まらずに往復できそうとみて、実行した。



赤安山（左）と黒岩山（右）

沼山峠の待合所へのバスの到着時刻が 7:20 分、最終バスの出発時刻が 17:00 その間 9:40 分、かなり急がないと最終バスに間に合わないことになる。間に合わなければ、歩いて御池まで帰らなければならない。当日は秋晴れが予想され、雨の心配はなさそう。早朝は、晴れたせいで気温が下がって、寒かった。御池からシャトルバスに乗って沼山峠の待合所に到着、先を急いだ。

袴腰山の北斜面では、昨夜降った雪が残っていた。赤安山の北斜面を通過して、黒岩山の南斜面を歩いているとき、鬼怒沼方面からの一人の登山者とすれ違う。今日合う初めての登山者。黒岩山の分岐を左折して山頂を目指す。テープがついているのでそれをたどりながら進むが、所々わかりにくいところがある。山頂近くでは藪の密度が濃くなり、歩きにくい。12 時半近くによろやく山頂に到着した。それまでは樹林帯の中で、見晴らしはなかったが、山頂からの見晴らしはよい。

帰りのバス時刻を考えると、ゆっくりとしていられない。早々に山頂を後にして先を急いだ。沼山峠の待合所には、バス最終時刻の 10 分前に到着できた。ようやく黒岩山に登ることができた。

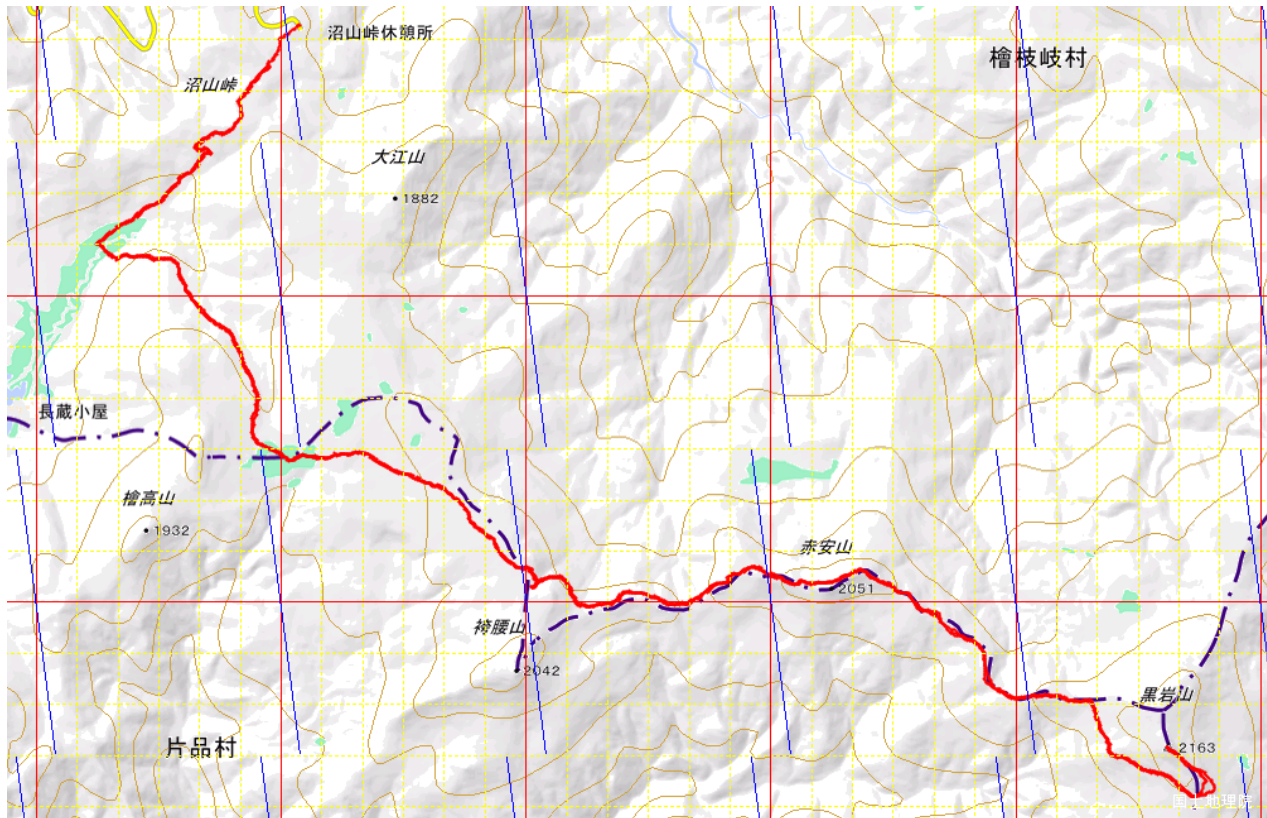


黒岩山山頂から福島と日光の山脈

【コースタイム】

沼山峠の待合所 7:25→大江湿原 7:56→小淵沢田代 8:46→黒岩山分岐 12:00
→黒岩山 12:24 12:44→黒岩山分岐 13:08→沼山峠の待合所 16:49

(文責：渡辺(敏))



金石が鳥谷山(969.6m)

2022 年 10 月 21 日(金)

渡辺(敏)

御池の駐車場で車中泊して、次に登る金石が鳥谷山に向かった。

前日の山行の疲労が少し残っていたので、ゆっくりして 7 時過ぎに向かった。登山道だと思っていた道が林道だったので、行けるところまで行ってみようと車で林道を進んだ。しかし林道は狭く、登るにつれてカーブがきつく切り返しをしないと進めないところが出てきたので、途中でUターンをして、路肩に駐車して歩き始めた。

金石が鳥谷山手前のピークにアンテナ棟があり、この林道はそのメンテナンス道路でその山の山頂まで続いている。途中から林道からそれて、金石が鳥谷山の山頂へ向かう。

踏み後がしっかりしていて、ピンクテープがついているので迷うことがないが、藪が茂っていてかき分けて進むところが所々ある。山頂には標識はないが、飯豊山、磐梯山それに二岐山方面の山々が見渡せて見晴らしはよい。

【コースタイム】

駐車地点 9:49→山頂 11:21 12:03→駐車地点 12:52

(文責：渡辺(敏))



山頂から飯豊山とその方面の山々



志津倉山(1234.2m)

2022年10月22日(土)

渡辺(敏)



シャクナゲ坂の途中から只見の山

金石が鳥谷山を下山して、次の登山の志津倉山の登山口で車中泊をした。登山口には7~8台程の駐車スペースがある。曇りがちかなと思ったら、夜空には星が瞬いていた。明るくなってから歩き始める。沢に沿って進み、沢から離れ斜面を尾根に向かって登る。シャクナゲ坂と呼ぶようで、かなり急で岩が出てやせている。右手には屏風岩と呼ぶ岩壁がそびえている。しばらくすると尾根に出る。左に進むと地図上の志津倉山に行くことができるが、藪こぎをしなければならぬのでパスをする。尾根を進むと三角点のある志津倉山に到着した。

山頂からは只見方面が開けている。しばらく休憩して周回コースで下山した。

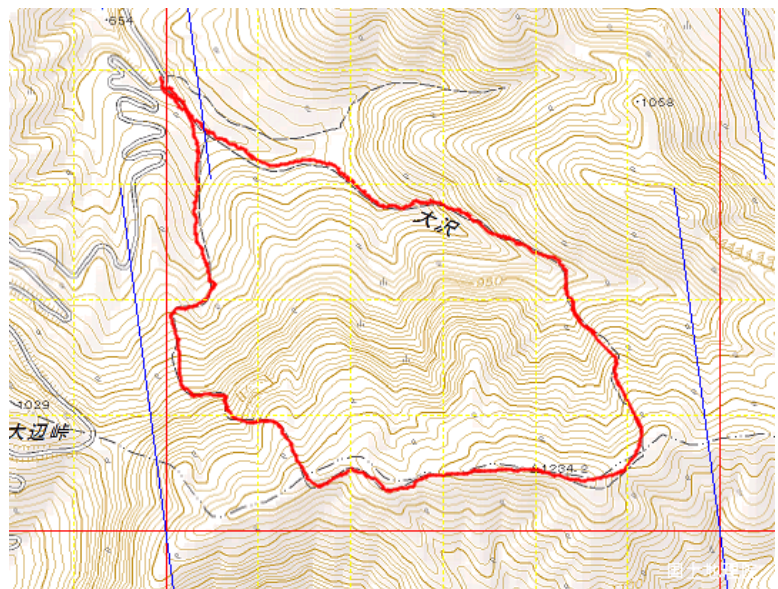
【コースタイム】

登山口 5:56→シャクナゲ坂 7:00→尾根 8:03→山頂 8:12 8:37→登山口 9:38

(文責：渡辺(敏))



枿の大木



駒止湿原

2022 年 10 月 22 日(土)

渡辺(敏)



志津倉山から下山して、次の駒止湿原に向かった。駒止湿原は田島口と昭和口があり、近い昭和口から湿原に入った。昭和口へは国道 401 号から林道を 7km 進むと、駐車場のある入り口に到着する。湿原は 3 つのエリアからなり、総面積 27 ヘクタールあり結構広い湿原です。今の時期は花はなく、草紅葉の茶褐色一面だ。

2 時間ほどで一周できる。メインは田島口で、こちらにはトイレがある。5

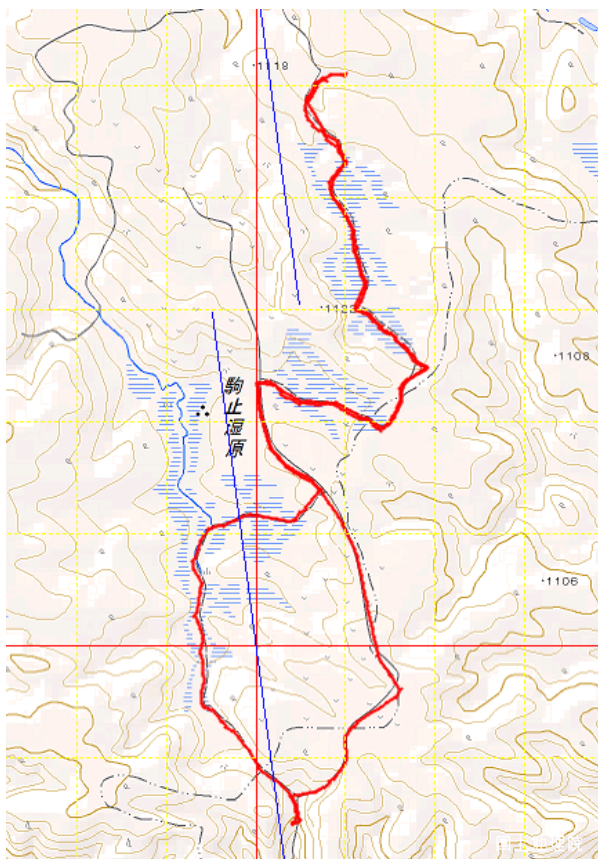
月か 6 月の花の時期に訪れるのもよい。一周し、途中でお昼を食べて下山した。

登山者はちらほら見かける程度

【コースタイム】

登山口 11:17→昼食 12:49 13:08→登山口 13:38

(文責：渡辺(敏))



大戸岳(1416m)

2022年10月31日(月)

秋葉、栗崎(透)、栗崎(容)、山中

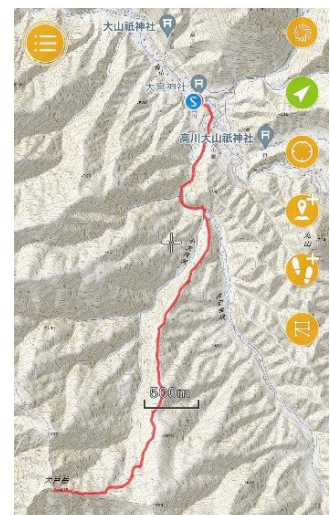
会津若松市で一番高い山「大戸岳」に登りました。国道121号線から大戸小学校に入り道なりに行くと閭川集落になり、そこには登山者駐車場がありました。

登山者駐車場から閭川集落を歩くと大戸岳登山入口の案内板があり大戸岳の紹介が書いてありました。そこから「熊出没注意」の看板を横目に林道を歩くと地図には載っていない神社の鳥居があり沢に沿って暫く行くと閭川登山口になりました。ここからの登山道は紅葉が見ごろになっていて気持ちよく歩くことができました。文字がかすんでいましたが「この先300米清水」と読める道標があり、その先にある中ツ手清水の横を登りましたが清水にはほとんど水の流れがなく水場としては使えない状況になっていました。そこから1時間程で尾根に出て見晴らしが良くなりました。山頂近くなると岩場の細尾根を登りました。風ノ三郎には小さな祠がありました。山頂に到着、そこからは猪苗代湖、磐梯山、布引高原の風車、羽鳥湖等が望めました。尾根に出るまでは見通しが無い登山道をひたすら歩き少し飽きますが、山頂近くからは望める景色は素晴らしく登りがいい山だったと思いました。下山途中では山からキノコのお土産までいただきました！

【コースタイム】

登山者駐車場 8:40→大戸岳登山口 8:50→閭川登山口 9:15→中ツ手清水 10:55→風ノ三郎 12:00→12:15 大戸岳山頂 12:50→閭川登山口 15:00→登山者駐車場 15:25

(文責：山中)



三倉山・流石山・大倉山

2022年11月3日(木)

秋葉、青天目、山中、西(重)、猪狩(由)、佐藤(春)、安部、佐藤(勝)、国井

さわやかな晴天に誘われて、秋の裏那須「流石山・三倉山」に行ってきました。秋晴れの絶好の登山日和、みんなとワイワイ山行を楽しんだ。

水石トンネル駐車場から下郷まで行き、観音沼公園を過ぎて大峠林道に入ると周囲は見事な紅葉に彩られ、素晴らしい風景に心が躍った。大峠林道は、鎧沢橋から先は進入禁止なので、ここで車を停めた。既に7から8台の車が停まっていた。鎧沢橋から大峠まで歩く。この道は会津中街道と呼ばれ会津の殿様が参勤交代で歩いた道なので、江戸時代に思いをはせながら歩いた。大峠は、左に行くと三本槍山、真直ぐ行くと三斗小屋温泉、右に行くと流石山・三倉山。私たちは、右に行く。

大峠から流石山へは、結構な急登、息が切れる。足が進まない。急登を登り終わると三本槍岳や朝日岳方面の那須連山が見える。更に進むと三斗小屋温泉の源泉の湯けむりが見える。流石山から眺める三倉山は遠いが、雄大な景色を見ながら稜線を気持ちよく進み、大倉山へ。大倉山から三倉山へ登山道は、ちょっと危険、笹で道が見えず、片方が崩落している。滑落しないように注意しながら歩いていく。無事に三倉山到着、万歳三唱。

帰りに石城山岳会・宇都宮支部長と会い、一緒に駐車場まで帰ってきた。とても楽しい山行ができました。一緒に行ってくれた方々に感謝します。

【コースタイム】

7:20 鎧沢橋ー8:30 大峠ー9:30 流石山ー10:30 大倉山ー11:10 三倉山ー12:20 大倉山ー13:10 流石山ー14:00 大峠ー15:00 鎧沢橋

(文責：国井)



中山(金塚山)(855.7m)

2022 年 11 月 4 日(金)

渡辺(敏)



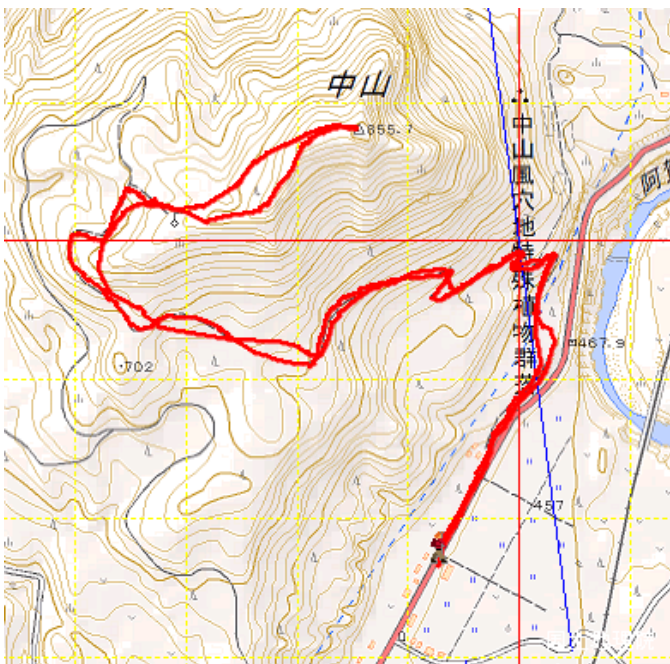
会津百名山のうち下郷から会津若松の芦ノ牧温泉、東山温泉沿い、それに会津美里町にある山を登る5日間の予定で出かけた。最初は下郷町の中山(金塚山)。下郷町物産館の駐車場に車を止めて歩き出した。天候は曇りで、あまりよくない。途中まで林道をたどる。林道の途中から電波塔の構造物への階段を上がり、そこから尾根沿いに山頂へと進む。山頂からは周りの山を見渡せるが、曇りがちなので遠くまでは見通せない。山頂でお昼を食べているとき雨が降り出した。急いで食べて下山した。途中にはいろいろな案内板や東屋があり、ハイキングコースになっている。

【コースタイム】

下郷町物産館駐車場 11:30→中山山頂 12:51 13:11

→駐車場 14:06

(文責：渡辺(敏))



思案岳(874.2m)

2022 年 11 月 5 日(土)

渡辺(敏)



思案岳

中山から下山して、次の予定の思案岳の登山口に向かった。思案岳は大戸岳の隣で閭川（くらかわ）集落を挟んで向かいにある山である。閭川集落の大戸岳登山用の駐車場に止め、車中泊をして次の日の登山に備えた。登山道はないので、事前に調べた閭川集落から集会場の手前の道を入り、林道に出て林道脇から登ってゆくルートを選んだ。はほかにも林道を進んで北側から登るルートもあるようだ。できるだけ藪を避けて登りやすいところを選んで進んでゆくが、山頂近くになると、傾斜が急になりすべらないように注意しながら山頂を目指した。思案岳の山頂は展望はなく山頂の三角点を確認して下山した。下山の場合、急斜面の下りは注意して、来た道を忠実に下山したが、油断すると下山方向がずれてしまう。GPS を見て修正しながら下山した。

【コースタイム】

閭川集落駐車場 6:38→鞍部 7:33→山頂 8:51 9:26→鞍部 9:56→駐車場 10:24

（文責：渡辺(敏)）



高つぶり山(933.1m)

2022 年 11 月 5 日(土)

渡辺(敏)



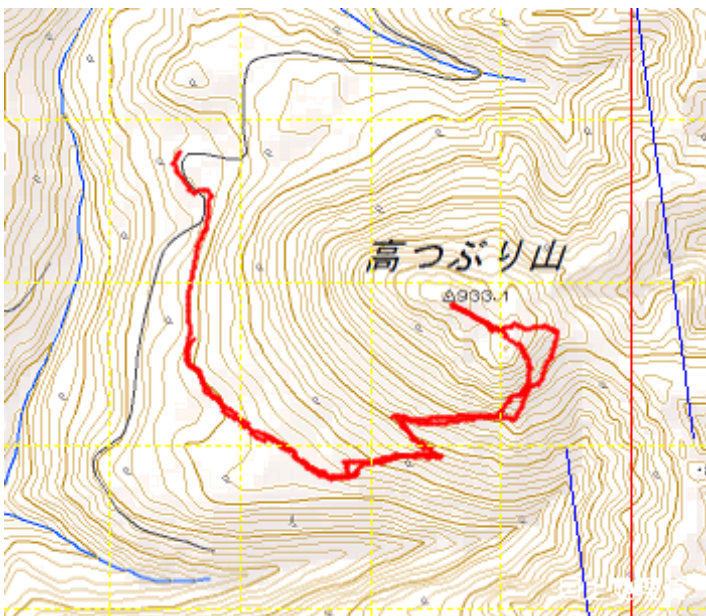
思案岳を登り終えて、次の高つぶり山の登山口に向かう。芦ノ牧温泉の国道 118 号から右に折れて舗装された山間の道を進む。登山口の近くには黒森集落という人家があり、国道から黒森集落まで 4km とあるが、かなり奥まで入る感じがする。黒森集落手前の林道を左に折れて、高つぶり山の麓の登山口の待避所に車を止めて歩き始める。かなり山奥で、山深さを感じる。事前に調べたルートに沿って進むと、それ

は現在では使われなくなった林道の跡だ。林道と行っても長らく使われなくなったので、藪が生い茂り草や雑木が行く手を阻む。たどってゆくと 877m 峰との鞍部に出た。林道はここまでのようだ。そこから山頂まで尾根をたどる。山頂からは展望はない。樹間からは背灸山の風車群が見える。帰りは来たルートをたどり登山口に戻った。

【コースタイム】

登山口 12:03→山頂 14:05 14:11→登山口 14:56

(文責：渡辺(敏))



背灸山、羽黒山(645m)

2022年11月6日(日)

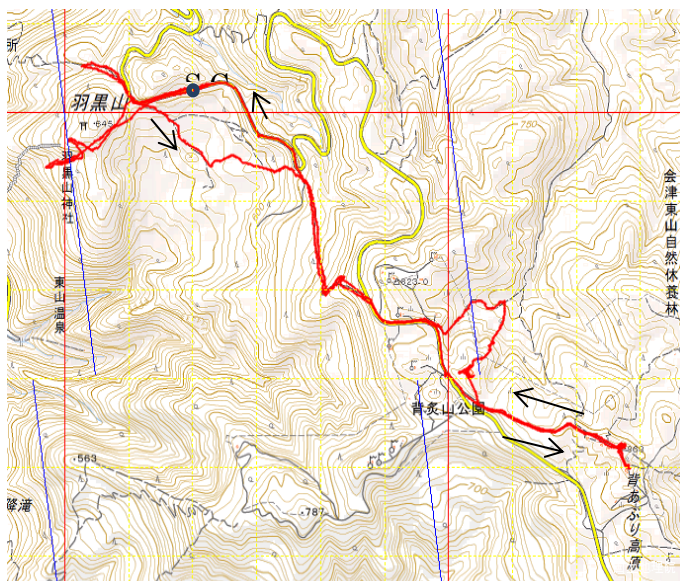
渡辺(敏)

羽黒山神社の入り口から入って、背灸山までの往復のつもりで、羽黒山神社の入り口へ行ってみたが、入り口近くには駐車場がなさそうなので、背灸山への途中の道路脇の待避所に車を止めて、そこから出発した。石山遊歩道の案内があったので、その道標に沿って背灸山まで進んだ。案内の道標はあるが、このルートはあまり使われていないようで所々草に覆われている。背灸公園には広い駐車場があり、無料休憩所もある。背灸山からは、磐梯山や猪苗代湖が見渡せる。背灸山を後にして、羽黒山社に向かう。道路から羽黒山社に向かう道が見つからず手間取るが、藪をかき分けて道路脇の崖を登ると登山道らしき踏み跡が見つかる。それをたどると、羽黒山神社奥の院、羽黒山神社社殿に行き着いた。そこから引き返して駐車地点に戻った。

(文責：渡辺(敏))

【コースタイム】

背灸山道路脇駐車地点 7:11→石山遊歩道入り口 7:21→背灸山公園 9:07→背灸山山頂 9:23→羽黒山奥の院 10:32→羽黒山社殿 10:43→背灸山道路脇駐車地点 11:11



滝沢峠、堂ヶ作山(382.1m)

2022 年 11 月 6 日(日)

渡辺(敏)

滝沢峠入り口の道路脇に車を止めて、滝沢峠に向かった。滝沢峠は会津から白河に向かう街道で、江戸時代に作られ現在も当時の石畳が残っている。道路脇には芭蕉の句碑やいろいろな案内板が立っている。滝沢峠の金堀集落入り口から引き返して、動画作山を目指して発電所の脇に出ようとして、道標に沿って進んでゆくと道路に出た。道を間違えたようだが遠回りになるが、道路を堂ヶ作山の入り口へ進んだ。堂ヶ作山の入り口は、団地の端に稲荷神社がありそこから登ってゆく。十数分で山頂に到着した。山頂からの展望はない。



【コースタイム】

滝沢峠入り口 11:59→滝沢峠 13:01→金堀集落入り口 13:09→分岐 13:18→道路 13:35→堂ヶ作山入り口 14:22→14:41→駐車地点 14:57



(文責：渡辺(敏))

奴田山(青木山) (723.3m)

2022 年 11 月 7 日(月)

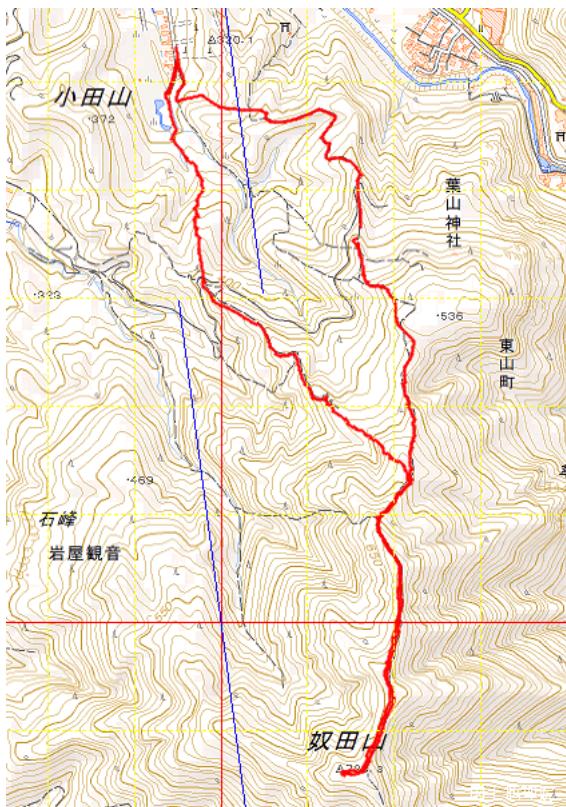
渡辺(敏)



奴田山山



奴田山稜線から見る朝霧の会津盆



奴田山は会津若松市の南東部に位置し、会津若松市街から眺められ、市民にとって身近な山である。子供の森登山口に駐車して麓山神社側から登って行った。市街地の近くでおそらく多くの人が登っていると思われ、登山道はきれいに整備されている。登って行く途中から、会津若松の市街地が望まれ、朝霧に覆われた会津盆地を眺めながら登って行った。2時間ほどで山頂に到着した。地図には奴田山と書いてあるが、山頂標識には青木山と両方書いてあり、地元の人には青木山の方がなじみ深いかもしれない。山頂から先にも見応えのあるところがあるように案内されていたが、先はパスして山頂から引き返した。子供の森スキー場の案内板があるところから、登ってきた道と分かれて下山した。下ってゆくと林道が現れ、子供の森スキー場方面の案内板があったが、直接子供の森方面のルートを下った。登山口の子供の森は広い広場やバーベキュー広場があり、市民の憩いの場所のようです。

【コースタイム】

子供の森登山口 7:05→麓山神社分岐 7:49

→子供の森分岐 8:20→山頂 9:01→子供の森分岐

9:27→子供の森登山口 10:13

(文責：渡辺(敏))

明神ヶ岳(723.3m)

2022 年 11 月 7 日(月)

渡辺(敏)



奴田山を登り終えて、次の明神ヶ岳の登山口に向かう。明神ヶ岳は会津美里町にある。会津盆地南部の西の端だ。

登山口の道路脇に車を止めて歩き始めた。入り口近くには会津 33 観音の一つ、大岩観音がある。明神ヶ岳の登山道は案内の道標がありしっかりとした登山道である。これだけきれいに整備されているので、登山シーズンには多くの登山者で賑わっていると思われる。しばらく登って行くと、伊佐須美神社奥の院の社がある。さらに登ると緩やかになり狭間峠に到着する。狭間峠から右に折れて登ってゆく。最後の急斜面を詰めると明神ヶ岳山頂に到着した。山頂からは木が邪魔してあまり見通せない。

帰りは来た道をたどって下山した。

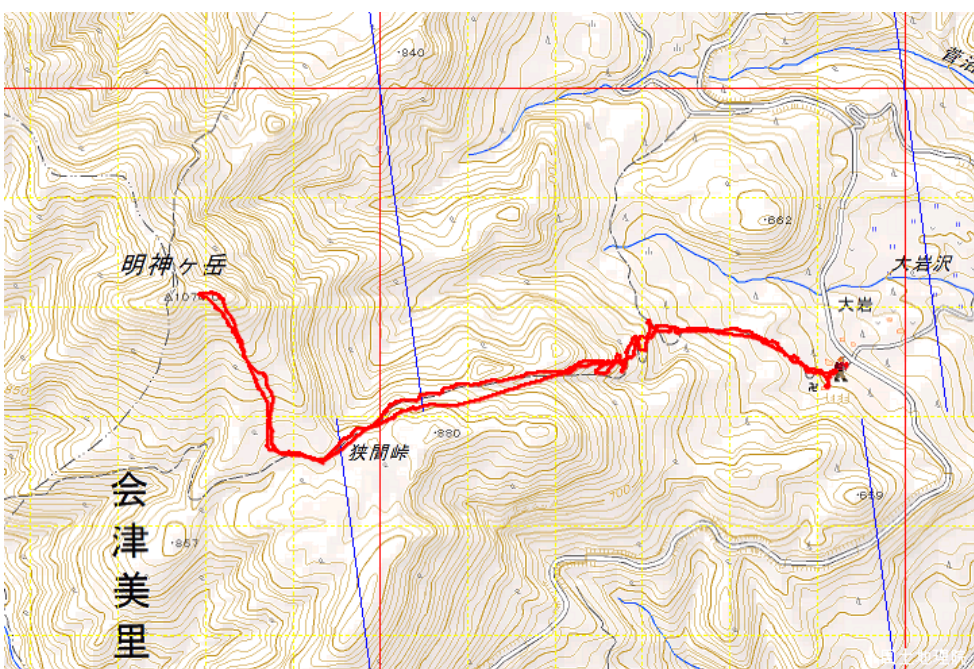


途中から明神ヶ岳山頂を望む

【コースタイム】

登山口 11:08→狭間峠 12:16→昼食 12:19 12:38
→山頂 13:21→狭間峠 13:57→登山口 14:37

(文責：渡辺(敏))



奥久慈男体山

2022年11月8日(火)

秋葉、尾形(成)(長)、山中、栗崎(透)、菊地、国井

秋の好天に誘われて、紅葉の奥久慈男体山への山行を楽しんできた。

奥久慈男体山へは、いくつか登山口はあるが、今回は、持方登山口から登る。ここまでの道路は、細くくねくね道だ。車に酔う方は要注意。持方登山口から舗装道路を歩いて大円地越へ。舗道道路から大円地越への案内表示は、電信柱の支線についている、よく見ないとわからない。大円地越から男体山山頂へは少々急登だが、標高が低いので少しの我慢で登れる。登りきると天気が良くて遠くの日光男体山や日立の山々も望めた。天気がいいのが最高の眺めだ。

山頂で小休憩、山頂脇の神社へお参りした。山頂から少し行くと分岐、左側を行けば鎖場コース。私たちは、白木山、高崎山方面へ直進、しばらく進んで分岐、木々が色づいて気持ちよく歩いた。分岐でロープワークの練習、引き上げや急斜面での下り方のロープの結び方の勉強会、その後、昼食。美味しい団子、ゆで卵など頂きました。

休憩後、先頭が私になった。何のことなく尾根を歩いて、白木山へ向かっていくと石のところで転んだ。左足首が体の下敷きに、転び方が悪かった。痛みはなかったので、強がって歩いたが、やはり左足がうまくつけない。スプレーと湿布を左足首に巻いて歩く。幸い、持方登山口まで近かったので、下山し、私一人だけ車に戻った。他のメンバーは、白木山まで行ったようだ。

今回の反省点は、里山でも気を抜かず歩き、とっさの転び方の注意が必要だし、湿布などを持ってくる必要を感じた。同行のメンバーに迷惑を掛けました。申し訳ない。足がよくなったら今度は、鎖場コースで登って見よう。

【コースタイム】

8:50 持方登山口ー9:20 大円地越ー10:00 男体山ー11:00 袋田の滝分岐（ロープワーク・昼食）
ー13:15 白木山分岐ー13:30 持方登山口



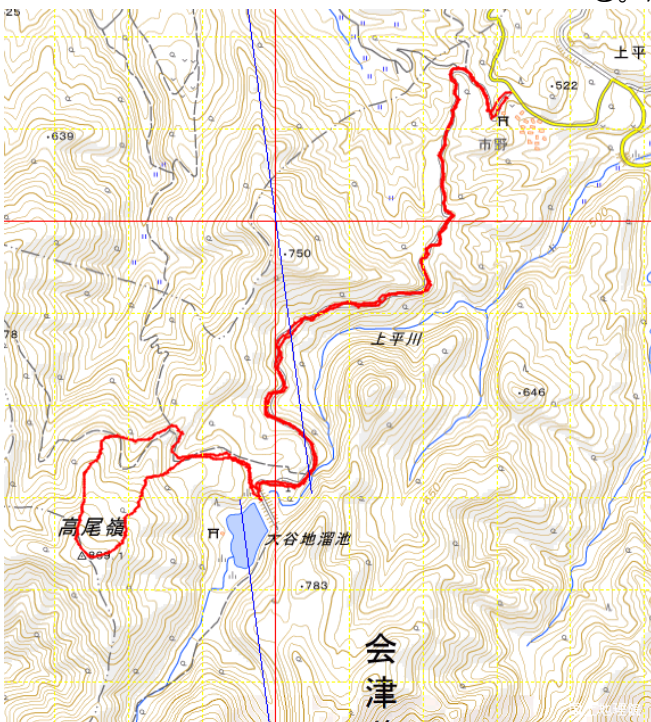
(文責：国井)



高尾嶺(869.1m)

2022 年 11 月 8 日(火)

渡辺(敏)



林道入り口の道路脇に車を止めて歩くことにした。林道は溜池の手前まで入れそうだが、道が荒れていると通りにくいと思い林道を歩いて行った。林道歩きは 1 時間ほど。溜池からはマーキングがあり、マーキングをたどりながら進んだ。背の高いススキや、藪が行く先をふさぐが、踏み跡があるのでそれをたどって進んでゆく。最初予定していたコースは、手前の尾根筋を上がるコースだが、マーキングがあるのでそれをたどることにした。マーキングをたどって進むと、記念碑のあるところにたどり着いた。どうやらここまでの案内らしい。そこでマーキングが終わっている。そこから山頂へ向かう。道がないので藪の薄いところを探しながら、高いところを目指して進むと、しばらくして傾斜が緩やかになり尾根の末端に出た。そこから緩やかな稜線を笹を分けながら山頂に向かって進む。まもなく高尾嶺山頂に到着する。見通しはほとんどきかない。山頂を確認してすぐ下山する。溜池方向を目指してコンパスで方向を確認して進む。

藪が結構濃いので進むのに難儀するが、下りなので登りよりよほど楽だ。所々踏み跡が確認できるので、最近誰かが登ったようだ。30 分ほどで溜池に到着。林道をたどって帰る途中、熊が林道を横切るのを見る。緊張する。

【コースタイム】

登山口 6:17→大谷地溜池 7:14→記念碑 7:57→
山頂 8:31→大谷地溜池 9:05→登山口 9:48

(文責：渡辺(敏))

銀山峠

2022 年 11 月 8 日(火)

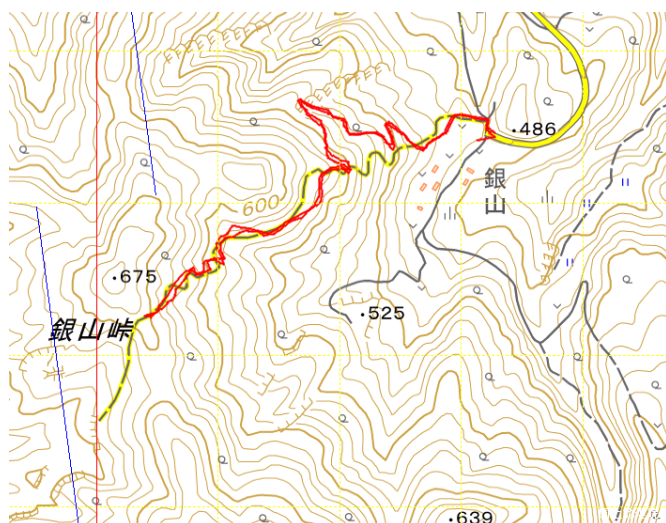
渡辺(敏)

高尾嶺に登った後、銀山集落の登山口に向かった。高尾嶺の登山口からは、山を越えると軽井沢の集落に入り、そこを抜けると立派な広い道がありその突き当たりが銀山集落である。山の中に開けた空間が広がっている。家屋が今でも数軒建っている。人が住んでいるような家屋もある。集落の端に巨大な煉瓦造りの煙突が立っている。明治時代に銀山鉱山の採掘のために使った煙突だそうだ。銀山峠の入り口から銀山峠に向かう。曇りの天気だったが、歩き始めると雨が降り始め本格的な降りになった。1 時間もしないで銀山峠に到着した。峠には何の標識もない。雨が降っているのですぐに引き返して登山口に着いた。銀山峠は銀山街道の一部で、銀山街道は江戸時代に利用され、会津若松と只見をつなぐ重要な街道だったそうだ。

【コースタイム】

銀山登山口 10:34→銀山峠 11:20→銀山登山口 11:46

(文責：渡辺(敏))



令和 4 年度 安全登山研修会兼指導員養成講習会

日時 2022 年 11 月 12 日(土)～13 日(日)

場所 郡山青少年会館

参加者 福島県内の山岳会より 11 名

うち石城山岳会より 渡邊（敏）、甲高、西、柏村

資格受講者：菊地、佐藤（幸）の 6 名 敬称略

福島県山岳連盟指導委員会の安全登山研修会兼指導員養成講習会が一泊二日で行われました。今回の研修テーマは「読図力の向上」で、1/25000 の地図よりもっと詳しいオリエンテーリング用の 1/7500 の地図を使い、コンパスの使い方は私がいつも山でしている方法と違い、整置は磁針のみを磁北線に合わせる方法でした。

座学でひと通りの説明を受けた後、屋外で実際に地図とコンパスを使いながら説明を受け、午後からはプランニングでルート上に自分で決めたポイントの風景を想像し、東西南北（前後左右）に何が見えるか？どんな地形かを先読みして記録してから、全員で実際に検証しながら歩きました。「右に沢か水路があるはずだけど無い」とか、「地図にない高速道路の境界杭があった」とか他の人の地図読みの深さに感心しました。また、地点の標高や距離なども計算して出しました。

2 日目は実際のオリエンテーリングで 2 分毎に一人ずつスタート。直前に渡される地図を読み、番号ごとの順序で 6 カ所のポイントを探し、その旗の番号をカードにパンチしてくるタイムレースで、範囲は昨日の説明で歩いたところも含まれており簡単でしたが、なぜか逆行してくる人も居ました。

指導員養成講習受講者の 3 名（石城山岳会 2 名、高校山岳部顧問 1 名）は 13 種類のロープワークのテストがあり、練習の成果を発揮していました。

次回は来年 1 月の積雪期技術研修です。

毎回講習内容が変わるので良い刺激になり、改めて山の知識技術は本当に奥が深いと感じました。

（文責：柏村）



大博多山(1315m)

2022年11月15日(月)

秋葉、下山田、栗崎(透)、栗崎(容)、山中

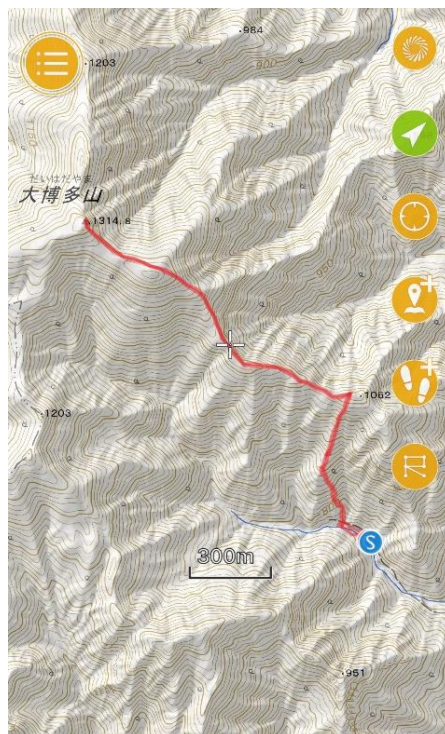
前日に登る予定でしたが山頂付近の雲が雨模様だったため麓の公園でロープワーク訓練をして、高清水自然公園を散策してから早めに宿に入り、温泉・プチ宴会を楽しみました。

この日も曇りの天気で、昨日も行った登山口から登り始めました。小さな滝がたくさんある沢沿いの道を行くと間もなく急登になりました。急登をゆっくり1時間ほどかけて登り尾根に出るとゆるいアップダウンがある穏やかな尾根道になります。片側が雪で削られたような細尾根になっていたところもありました。山頂手前のピークを越えると大博多山山頂です。本来なら山頂からはパノラマの展望になっているはずでしたがこの日はガスのため望めませんでした。下山田さんは秋葉さん・栗崎さんに叱咤激励されながら一緒に山頂踏破！みんなで楽しい二日間を過ごしました。

【コースタイム】

登山口 9:20→11:20 大博多山 12:00→登山口 13:45

(文責：山中)



博士山 山行

2022年 11 月 21 日(月)

秋葉、栗崎(透)(容)、菊地、赤塚(将)(園)

晩秋の会津 博士山に登ってきました。

スタート時にはポツポツと小雨が降っていましたが歩き始める頃にはテンクラAの予報通り青空がのぞき始めました。道海泣き尾根登山口からのスタートでしたが入口には「熊出没注意！！」の看板があり、熊鈴を鳴らしながら登り始めました。

登山口はシダの多い道でしたが、すぐにブナの樹林帯となり会津の自然がそのまま残されているヤマだなァと感じました。水場を過ぎると会津のヤマらしくすぐにロープや鎖、梯子があり急登、急登の連続でぎゅーと汗を絞られました。途中、尾根の手前で休憩を入れ、秋葉校長によるロープワークの実践編を行いました。やはり座学よりも実践あるのみ！Kさん頑張れ！

休憩後、尾根の分岐を過ぎクロベの巨木を過ぎいくつかピークを越えると博士山頂上到着です。



下りは近洞寺尾根を経由して沢に出る周回コースを取り、無事下山しました。

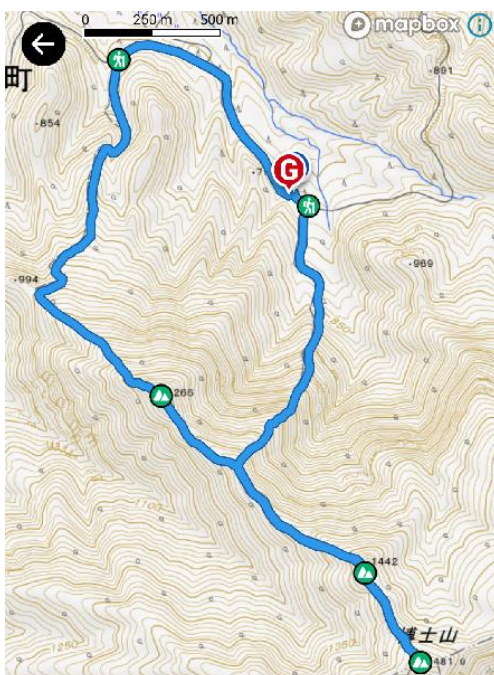
途中、熊の存在がはっきりとわかる糞や爪痕があちこちあり、入口の看板に偽りなし。会津のヤマは、熊鈴必携！ですね。今回は賑やか集団のため熊鈴不要でしたが・・・

集合時間：水石トンネル 6：30

【コースタイム】

道海泣き尾根登山口 9：15⇒社峰 11：50⇒博士山 12：05（休憩）12：45
⇒近洞寺山 13：40⇒近洞寺尾根登山口 15：00⇒道海泣き尾根登山口 15：20
⇒帰路⇒水石トンネル 18：30

（文責：赤塚(将)）



鉄山（1709m）塩沢ルート周回

2022 年 11 月 22 日(火)・23 日(水)

安部、山中

来年には小屋終いになってしまうとのことで、その前に泊まりたいと思い「くろがね小屋」泊で塩沢ルートを周回しました。塩沢ルートは昨年沢が渡れず途中断念したルートです。

塩沢スキー場には後から 1 台の車が来た以外は我々のみ、天候は曇り、スキー場をぬけると登山口になります。最初はなだらかな登山道が続きます。馬返し分岐、金剛清水を経てしばらくして三階滝分岐、当然三階滝へ行く沢コースを下ります。三階滝の一階、二階を見ながら沢沿いを歩き、梯子を登り三階を見てから登ると屏風岩に出ました。屏風岩の断崖から滝と真下の沢を望み小休止。一般の登山道に戻り進むと油断すると足を踏み外しそうな幅が狭い板の上を歩くトラバースがありました。次に最初の渡渉になります。昨年来た時には水量が多く渡れず引き返しましたが今回は大丈夫でした。沢沿いを歩く登山道は雰囲気良く気持ち良く歩くことが出来ました。天狗岩のそばを過ぎ、渡渉を数回繰り返し天狗の庭を経て奥岳からの登山道に合流しました。ここから本日の宿のくろがね小屋も見えました。くろがね小屋でチェックインして昼食を食べてからとりあえず鉄山まで登ってこの日は小屋に引き返しました。

小屋では温泉で本日の疲れをのんびり癒し、湯上りに背負ってきたビールを飲み、夕食は小屋名物のカレーライスを食べ、食後はまた飲み、寝る前にまた温泉に入りの至福の時を過ごしました。

2 日目は昨日登った鉄山まで行き、鉄山避難小屋から笹平分岐、僧悟台へと下ります。見晴台ではガスで見晴らしがなく、急坂を折り返して下り、水のない草履沼を過ぎ、最後に渡渉をすると馬返し分岐の登山道に合流し塩沢登山口に到着しました。しかし笹平からのコースは飽きました。

今回の小屋泊は、温泉、お酒、食事、仲間、出会いに恵まれ大変有意義な山行になりました。次回はくろがね小屋泊で雪の安達太良山登山をしたいと思います。

【コースタイム】

1 日目

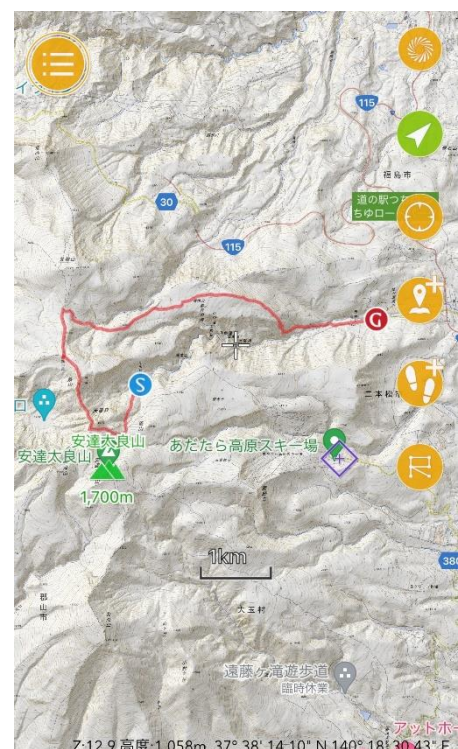
塩沢登山口 9:15→馬返し分岐 9:25→三階滝分岐 10:20→三階滝 10:40→屏風岩 10:55→天狗の庭 12:20→12:30 くろがね小屋 13:25→矢筈森 14:10→鉄山 14:40→くろがね小屋 16:00

2 日目

くろがね小屋 7:10→矢筈森 7:55→鉄山 8:30→鉄山避難小屋 8:45→笹平分岐 9:15 僧悟台 10:45→塩沢登山口 11:55

(文責：山中)





生瀬富士・立神山・月居山

2022年11月27日(日) 太、樫村、菅野、山縣、二瓶、外1

紅葉の奥久慈、袋田滝を囲む山々を、「茨城のジャングル」に立ち寄りながら周回した。

7時30分に袋田滝本町営第一無料駐車場に到着したが、駐車場は既に満車であった。通行の邪魔にならないスペースに何とか駐車。場内の公衆トイレ利用し、準備を整える。登山口は、そこから少し離れた場所で、民家で少しわかりにくい、思い出しながら進む。

コースは、最初が沢に沿った杉林で、奥を登るころには雑木林になる。育林地を左に見て急登を過ぎると露岩や岩壁が現れる。それらを登った先が生瀬富士の山頂で、展望が素晴らしい。周回コースは、ここから急坂を下るのだが、その前にジャングルに立ち寄る。岩尾根のピークで天使の金属板を持って写真を撮っていると、10人以上の順番待ちの行列ができた。写真映えもするので凄い人気スポットである。周回コースに戻ると、10名ほどのパーティーが急坂を下る順番待ちで混雑していた。立神山を過ぎ、渡渉点に下る手前、滝覗きの場所がある。袋田滝をほぼ真上から覗き込むと、非常にスリルがある。渡渉点で少し増水した川を渡ってから昼食休憩。その後は、月居山の山頂を目指すと、途中からコンクリート石段。小ピークを過ぎると、コル付近には観音堂、鐘楼。登り返すと月居山の山頂。山城跡で広場になっており、石碑が建つ。広場周囲のモミジ紅葉が非常に美しかった。コルまで戻って駐車場へと下山した。紅葉時期の週末、袋田滝周辺の山々は、たいへんな賑わいであった。

【コースタイム】

7:50 駐車場→9:00 生瀬富士→9:15 茨城のジャングル→10:10 立神山→11:35 渡渉点→12:35 月居観音堂→12:55 月居山→13:50 駐車場

(文責：太)

